

難民申請者等の生活と権利を守るためのプロジェクト

NGO 神戸外国人救援ネット

1 事業が目指すところ

日本で暮らす外国人が増加する中、難民申請を行う外国人も多数存在するが、難民として認められる人は極めて少なく0.4%程度である。不安定な在留資格のまま、生活に困窮してホームレス生活や悲惨な生活に追いやられる方々もいる。法律的なサポートだけでなく、住居、生活費、医療、社会保障など、生活そのものに関わるサポートが必要である。最近では中東やアフリカなどからの難民申請者が神戸でも増えており、救援ネットにも相談が寄せられている。神戸のまちは、白系ロシア人、ユダヤ人、濟州島4・3事件避難者、ベトナム人など多くの難民を受け入れ、今日の神戸のまちを共に築き上げてきた。本事業では、現在の神戸で暮らす難民申請者への総合的サポートを行うことと、「難民と神戸」の歴史を学ぶことを目指す。

2 活動内容

◆難民申請者等に対して、以下のようなサポートを行う。(随時)

- ・弁護士事務所や各種関係機関への同行、通訳の派遣
- ・各種手続きのサポート
- ・住居の確保
- ・食料品や生活用品の提供など
- ・その他日常的な相談と支援

◆「難民と神戸」を学ぶ講演会をオンライン(zoom)にて開催

2022年2月26日(土)13時半~15時半

「神戸のユダヤ難民」/講師：金子マーティンさん(日本女子大学名誉教授)

◆「難民と神戸」に関する情報収集と、リーフレットの作成



3 成果や課題点

◆成果

シリア、チュニジア、ウガンダ、ガーナ、ブルキナファソ、セネガル、ギニア、カメルーンなどの難民申請者へ、物資配布、同行・通訳支援を実施することができた。

◆課題

当初は、昨年度のように「難民と神戸」を学ぶ講演会と北野周辺にある関連施設(宗教施設や当時の住居など)をめぐるまち歩きを予定していた。しかし、オミクロン株による感染拡大により、まち歩きは中止。講演会もオンライン開催へと変更になってしまった。

『難民と神戸』を学ぶ 講演のご案内

神戸のユダヤ難民

神戸のまちは白系ロシア人、ユダヤ人、濟州島4・3事件避難者、ベトナム人など多くの難民を受け入れてきた歴史を持っています。

杉原千敏「命のビザ」の話をご存知ですか？アジア・太平洋戦争の時期には、このビザでナサの迫害から逃れたユダヤ人難民のうち、約4600人が神戸にやってきて、第二次世界大戦を生き延びました。今回の講演会ではその歴史を学びます。

神戸にやってきた難民が街の発展に果たした役割を学び、知る中で、現在の日本での難民申請者が置かれたあまりにも厳しい状況への理解をすすめるともに難民申請者に温かい社会をつくっていかたいと考えて、この企画を行います。ぜひご参加ください。

開催方法 オンライン ZOOM

日時 2022年2月26日(土)

講演会 13時30分~15時30分

「神戸のユダヤ難民」

講師 金子 マーティン さん (日本女子大学名誉教授)

金子 マーティン (かみこ マーティン、Kanako Martin)
1949年生まれ。オーストリア出身の社会学者、日本女子大学名誉教授(社会学)。ヨーロッパ史・現代社会思想を専攻。特に歴史学に関する研究で、『口マ民衆の伝説とポロコースト』を著している。『神戸・ユダヤ人難民1940-1941-「禁止」される移民・日本の難民人対策』(2003年、みずのむし出版)などの著書がある。

お申込み方法
参加希望の方は下記の google フォームよりお申込みください。(QRコードからも読み取れます) 開催日前日までに参加のための URL をお送りいたします。

【お申込みフォーム】 <https://forms.gle/9B9W5mc16F6t9hC8J6>

【お申込み】 2022年2月24日(水) 締切

【参加費】 無料

【主催】 NGO 神戸外国人救援ネット (神戸市中央区中山手通1-28-7)
TEL:078-271-3270 e-mail:gnnet@poppy.ocn.ne.jp

この企画は、ひょうごボランティア協会協賛事業の助成金を受けて実施しています。